

佐賀朝先生

このコースの魅力とは?

歴史を越え普遍的な魅力を持つ人間の営みは、歴史の中から生まれます。地域に赴き、歴史資料をひもとき、自分の力で歴史の真実を掘り起こす醍醐味が日本史の魅力です。

先生の、今の先生につながる大学時代のエピソードはなんですか?

学部生時代に出会った先生の影響で大阪市の大学院に進学し、そこで歴史の研究がおもしろいと感じ、研究の道に進みました。卒論のときから民衆史を研究してきましたが、教科書や先行研究から抱いたイメージとは違つ、民衆生活や社会の実態を、自分で探し出した史料を読み解き、発見できるのがおもしろいと感じましたね。また、大学院時代に阪神大震災があり、歴史資料救出のボランティア活動に参加したのですが、民衆が生活していた地域の現場で生の史料に触れた経験が自分の研究を深める上で大きなステップになりました。

日本史専修教授

高梨友宏先生

このコースの魅力とは?

哲學は原理的・普遍的なものの見方を特徴とするので、テーマ設定の可能性が広範です。また先入観を排し、芸大に通っていた従姉の影響もあって、大学では美術史学をやろうと思つていました。しかし実際の美術史の授業は、自分が考えていたものとは違っていました。むしろ芸術に対する哲学的なアプローチを試みる美学の授業の方に、自分の関心との近さを感じました。そして美学の先生が人格的にも尊敬できる人だったので、その先生の下で学ぶことに決めました。あともう1つ、3回生のときに失恋してキルケゴー尔に接近したことが、哲学への入り口になりましたね。

先生の、今の先生につながる大学時代のエピソードはなんですか?

浪人時代に本当にやりたいことを探し、芸大に通っていた従姉の影響もあって、大学では美術史学をやろうと思つていました。しかし実際の美術史の授業は、自分が考えていたものとは違っていました。むしろ芸術に対する哲学的なアプローチを試みる美学の授業の方に、自分の関心との近さを感じました。そして美学の先生が人格的にも尊敬できる人だったので、その先生の下で学ぶことに決めました。あともう1つ、3回生のときに失恋してキルケゴー尔に接近したことが、哲学への入り口になりましたね。

哲學専修教授

日本史コース

日本史学専修

このコースはどうなっています?

日本史コースでは、全ての時代の史料（歴史研究の基礎になる文献や遺物）のあつかいを授業で学ぶのです。最初はほとんど読めませんでしたが、次第に読めるようになっていくのがとても楽しかったです。

日本史基礎講読II

東本まひろさん

学士論文

- 若宮祭から見る戦国期における大和興福寺と衆徒の権力関係
- 近世大阪の芝居地の社会構造一空間と興行の側面から

修士論文

- 一五～一六世紀における幕府儀礼の意味とその変容一室町幕府の性格を検討する一環として一室町・戦国期京極氏の江北支配

博士論文

- 近世和泉の国における村落社会と領主支配一泉州伯太藩領を中心に一江北支配
- 日本古代都市史研究

哲学歴史学科 / 哲学歴史学専攻

哲学コース

哲学専修

このコースはどうなっています?

生徒と教員が輪になる形で机を組み、「リガニアサノ」『国家』などの哲学書を解読していきます。哲学には証拠となるデータがなく、他人にわかりにくい文章でできているので、ただ読むだけではなく、互いに解釈をぶつけ合い、読んでいきます。その人の脳みそを理解できたときに、実際に触れた気がして気持ちがいいものです。

倫理学演習・講読

高鳥耀介さん

学士論文

- カントの道徳哲学において、道徳的な行動はいかにして可能か
- ニーチェにおける善惡の価値判断
- 「神の死」をめぐるニーチェの洞察

修士論文

- モルモン教における信仰の形態聖典からの教義理解と考察
- 「神の死」をめぐるニーチェの洞察

博士論文

- 直示的思考と近くについての研究一エヴァンズ、マクダウェルの検討を通じて

哲学コース4回生

前半博士課程一回生

渡邊卓朗さん

この専修はどうなっています?

古代から現代までの日本社会の歴史を学ぶとともに、自ら研究する力量を身につけることをめざします。その際、考古学的遺跡・遺物、古文書・日記や記録、近現代の公文書・習俗・伝承など、さまざまな史料の分析方法を学び、それらを駆使して、政治・社会・都市史・文化史など、幅広い視野からの歴史研究を行っています。研究活動は学会・研究会の活動を通して、全国的広がりを持ちながら、他の大学・研究機関の研究者と交流を深めています。なお、将来の進路は、大学教員・博物館や資料館の学芸員などの研究職・専門職に就くケースが一般的です。

日本史学専修

木上由梨佳さん

この専修はどうなっています?

私は江戸時代の大坂の芸能について、歴史学の立場から研究しています。歌舞伎など芸能は、役者だけでなく多様な人々の社会関係の上に成り立つていたことが史料を読み解いていくと明らかになってしまいます。芸能を結節点とし、当時の人々がどのような社会関係を築き生きていたのか、その一端を解明していく所に魅力があります。

前期博士課程1回生

この専修はどうなっています?

哲学専修では、哲学・倫理学・宗教学・美学という4つの分野の研究を行います。まず哲学の分野では、西洋哲学への理解を踏まえ、論理学・存在論・認識論等をつかい、科学哲学・言語哲学などの新しい分野についても研究が行われています。また、倫理学には理論的倫理学と、応用倫理学とが含まれます。宗教学の分野において、哲学専修では主に宗教哲学の研究を行っています。美学は感覚として価値論的・存在論的ないし認識論的アプローチを試みます。なお、一度、他大学の研究者も招き、学生も参加して、哲学研究会を行なっています。

前半博士課程一回生

渡邊卓朗さん

このコースはどうなっています?

高校までのよなな人物名や年号の暗記ではなく、歴史上の諸事実の因果関係や、過去の社会の実態を復元し、人間社会の特徴を、時間的な変化と一緒に捉えるのが歴史研究です。その手掛かりは古文書や遺物・遺跡、建築・町並み・景観など、過去の人々が残した生活の痕跡全体です。日本史コースでは、歴史資料を読み解く力を養うため、地域での合同史料調査や、史跡・町並み・博物館などを踏査する「まち歩き」もこなし、現場歴史を学びます。

日本史学専修

前半博士課程1回生

この専修はどうなっています?

ご自身の研究のおもしろいところは?

カントは、神でもなく、動物でもない、まさに人間の立場に立つて人間の尊厳と限界を語ります。しかし、「哲学するとは自ら思索すること」。そのようなカント哲学の原典を学びながら、教育の目標す人格の完成の問題、原発などの核の問題、戦争と平和の問題など現代の問題を根底から考え、思索を深められます。ここに研究のおもしろさがあります。

日本史専修

佐賀朝先生

このコースの魅力とは?

哲學専修では、「理論哲学」の他、実践・規範・価値に関する諸思想も学びます。すなわち、善・正義・幸福について探究する「倫理学」、生死の意味・神とは、また信仰とはなにかについて問う「宗教学」、美や芸術とはなにか、またそれらと人間との関係の如何を問う「美学」です。授業を通して問題の所在と広がりを把握し、原書講読等の演習を通して哲学的思考の実践力を養うことができます。

哲學専修

